

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所レインボーパーク（放デイ）		
○保護者評価実施期間	R 8年2月24日		~ R 8年3月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	R 8年2月25日		~ R 8年3月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	身体の力を抜いてリラックスできる取り組み（ロールマット）がある	下校後の取り組みなので、お話をしたり季節の歌や好きな歌を歌ったりしながらリラックスした雰囲気づくりを心掛け、全身の緊張をほぐしていくようにしている。	個人の興味・関心のあることを把握しておいたり、安心して様々なことを話せる信頼関係を築いていく。
2	自然豊かで園庭が広く、存分に身体を動かして活動が楽しめる	気候や日々の利用児の様子に配慮しながら、散歩や園庭遊び（水・砂・土・築山・三輪車・ボール・園庭遊具など）を自由に楽しめるようにしている。	児童クラブや保育園児がいる時間帯での交流遊びも行う。
3	併設の児童クラブとの交流の機会が多く持てる。また、おやつを自分で選べるようにしたので、おやつのお買い物を楽しんでいる	長期休みには合同での活動を計画し、皆で一緒に楽しんでいる。参加しやすいように事前に保護者さんへ知らせている。おやつは金額が決まっているので、自分の希望と金額を考えながら買い物をするという工夫と気持ちの切り替えを経験していけるようにしている。	それぞれのペースで楽しめるよう、子ども達の意見の聞き取りを行い、活動を取り入れていく。 楽しみに来れるよう、おやつ希望も取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、について保護者への周知不足がある。	緊急時マニュアルの読み込みが徹底されていなかった。 保護者との意識の違いがあった。	改善は行ったが、①年度初めには必ず利用児の状況に変化はないか健康調査票の確認をおこなう。②保護者と各マニュアルの読み合わせを行い共通認識をもつようにする。
2	地域に開かれた事業運営という面で消極的である。	行事が少なく、招待するというところまでに至っていない。	親子レクリエーションへのお誘いや、招待することだけでなく施設として地域の行事に出かけていくことも視野に入れていく。